

【政策別未来像】自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる

●政策指標

・市民の実感指標

指標名	基準値
気軽に目的地へ移動しやすいと思う 市民の割合（％）	68.6 〔R 6年度〕

・客観指標

指標名	基準値	目標値 (R 11 年度)
市内公共交通機関*の利用者数（人）	30,911,000 〔R 5年度〕	31,170,000

（*）松山空港・松山観光港・ＪＲ・伊予鉄

●未来像を実現するために求められる視点

- ・移動したいときにシームレスに利用できる移動手段の充実と、交通拠点の整備
- ・日常生活を支える交通の維持・確保
- ・安全・安心で歩きたくなる魅力あふれるコンパクトなまちづくり
- ・松山を訪れる人が、円滑に周遊できる交通ネットワークの形成
- ・自動運転技術など次世代モビリティ（移動手段）の導入

●未来像の実現に向けて皆さんに取り組んでほしいこと

【市民】

- ・公共交通等の利用や徒歩・自転車での移動を積極的に選択する。

【事業者】

- ・事業者間での連携を強化し、ダイヤの相互調整等によってシームレスな移動を可能にする。
- ・自動運転などの新たな技術の導入等によって、利用者の利便性と効率化を両立させる。

【関係団体】

- ・四国新幹線の早期実現に向けた周知・啓発・要望活動に参画する。

●施策

施策071：良好な移動環境の整備

●施策のねらい

- ・コンパクトなまちづくりを進め、いつでも市内のどこからでも、ストレスなく移動できる環境をつくります。

●主な取組

(1)身近な移動環境の充実（0711）

安全・安心で快適に歩いて暮らせる歩行者空間を創出するため、無電柱化や交差点の改良、歩道整備を進めるとともに、適正な駐輪場の整備や放置自転車対策を強化します。

また、シェアサイクルや自動運転をはじめとした次世代モビリティサービスの導入など、多様な移動手段の選択が可能な拠点を整備し、誰もが移動しやすい環境をつくります。

(2)公共交通機関の利便性向上（0712）

鉄道や路面電車、バス、タクシー、航空機、船舶など、多様な交通網を有する松山市の特性をいかし、各交通機関の連携を進めるとともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組み、誰もがシームレスに公共交通を利用できる環境整備に努めます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0711	中心市街地の放置自転車台数（台）	1,646 [R5年度]	1,406
0712	公共交通の便利なまちだと思う市民の割合（%）	50.4 [R6年度]	50.9

施策072：交通基盤の整備

●施策のねらい

- ・ 道路、港湾、空港、鉄道など、交通の基盤となる施設を整備し、ネットワーク化することで、市外と松山市との出入りを活発にし、広域から人の流れを呼び込みます。

●主な取組

(1)幹線道路網の整備（0721）

渋滞緩和や物流効率化の支援・観光地へのアクセス性向上を図るため、松山外環状道路など、主要な幹線道路の早期完成を目指し、道路網の充実を図ります。

(2)交通拠点の強化（0722）

J R松山駅や松山市駅の交通拠点としての機能強化やアクセス性向上に取り組むとともに、松山空港の路線拡充に向けた支援や港湾利用者の利便性向上と安全確保のため、港湾機能の充実を図ります。また、観光、産業、防災、市民生活など、多方面に大きな効果をもたらす四国新幹線の実現に向けた活動に取り組めます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0721	中之川通線・本町宝塔寺線の整備延長 (m)	0 [R5年度]	477
0722	松山空港発着運航便数（便）	29,166 [R5年度]	32,000

政策08

にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】

【政策別未来像】都会と田舎の住みやすさが共存している

●政策指標

・市民の実感指標

指標名	基準値
松山市は住みやすいと思う市民の割合（％）	92.2 [R 6年度]

・客観指標

指標名	基準値	目標値 (R 11 年度)
中心市街地の通行者数*（人）	36,800 [R 5年]	49,400 [R 11年]

（＊）3 地点の平日・休日の年間合計を1 月分に平均した数値

●未来像を実現するために求められる視点

- ・コンパクトでウォーカブルなまちの形成に向けた都市機能の整備・集約
- ・美しいまちなみと、にぎわいを創出する取組への支援や、まちの景観に対する市民の意識の醸成
- ・快適な住環境を確保するための取組や支援、空き家対策の強化
- ・日常生活での使いやすさに加えて、災害にも強いインフラ整備の推進
- ・いつでも安心して安全な水が使える環境の整備と、適切な汚水処理の推進
- ・便利で住みやすい暮らしを支える都市基盤の老朽化対策・設備更新

●未来像の実現に向けて皆さんに取り組んでほしいこと

【市民】

- ・中心市街地に買い物や食事に出かける。
- ・住居を探す時には、中古物件も候補として検討してみる。
- ・水の無駄遣いをしない。

【事業者】

- ・会社が保有する建物や看板等について、まちの景観に配慮する。
- ・まちのにぎわいを創出するイベントや仕掛けに積極的に参画する。

【関係団体】

- ・まちのにぎわいを創出するイベントや仕掛けづくりを行う。

●施策

施策081：にぎわいのある都市空間の形成

●施策のねらい

- ・ まちの玄関口となるＪＲ松山駅や松山市駅の周辺整備などによって、にぎわいのある緑豊かな都市空間を形成するとともに、都市機能が集約されたコンパクトなまちづくりを進めます。

●主な取組

(1)緑豊かで良好な都市空間の形成（0811）

景観計画の策定・運用や民間事業者への景観誘導、各種景観まちづくり事業の実施を通じ、良好な景観形成と、市民の景観に対する意識の高揚を図ります。また、都市公園については、長寿命化計画に基づく再整備等を行い、需要の変化も見越した上で、適切な維持管理に努めます。

(2)中心市街地の活性化（0812）

ＪＲ松山駅周辺・松山市駅前の整備に加え、市街地再開発事業などの民間主導の取組や商店街への出店・建替えを後押しし、商店街等の関係者と連携しながら、官民一体で中心市街地の活性化を推進します。

(3)計画的な土地利用の促進（0813）

一番町や銀天街Ｌ字地区の再開発事業や民間主体の景観整備、にぎわい創出の取組を支援し、官民協働で計画的な土地利用の促進によるコンパクトなまちづくりを推進します。

また、都市の周辺部での無秩序な市街化を防止するため、都市計画区域内の開発行為の許可事務等について厳格に運用します。

(4)住宅の適切な管理と支援（0814）

築年数が経過した市営住宅を計画的に改修し、適切に維持管理をします。また、市民の住宅リフォームを支援し、住宅の長寿命化やバリアフリー化を促すとともに、空き家の流通促進や、危険な老朽空き家の所有者等に対する除却支援を行います。

(5)良好な通信環境の確保（0815）

市内の情報通信格差を解消し均衡ある発展を図るため、島しょ部に整備した情報通信基盤を維持管理します。また、市内の主要な観光施設や防災拠点などに整備した公衆無線ＬＡＮ（フリーＷｉ－Ｆｉ）の安定稼働に努めます。

●成果（アウトカム）指標

主な 取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0811	景観計画区域の指定数（地区）※累計	9 [R5年度]	11
0812	中心市街地の地価の平均（千円/㎡）	406 [R5年度]	431
0813	地籍調査の進捗率（％）	49.0 [R5年度]	53.2
0814	危険な空き家の除却の件数（件）※累計	226 [R5年度]	466
0815	公衆無線LANの正常稼働率（％）	100 [R5年度]	100

施策082：安全な都市基盤の整備

●施策のねらい

- ・誰もが安心して快適に過ごせるよう、生活道路・上下水道の災害対策などを推進し、安全な都市基盤をつくります。

●主な取組

(1)生活道路の適切な維持管理（0821）

市民の安全・安心な通行や災害時等の緊急車両の通行路を確保するため、地域住民等と連携し、生活道路の適切な維持管理とともに、道路の拡幅や交差点の改良を行うなど、効果的・効率的に整備します。

(2)災害に強い都市基盤・施設の整備（0822）

地震や集中豪雨などに備えるための防災・減災対策を進めるため、がけ崩れ防災対策工事や橋梁耐震補強工事、雨水排水施設の整備、上下水道施設の耐震化・耐水化などを実施します。

(3)安定した水の供給と污水处理（0823）

節水機器の普及や水源かん養林の整備など節水型都市づくりを進め、渇水時・緊急時の対応強化に取り組みます。また、上下水道施設の整備や更新、日常点検、水質検査を計画的に実施するなど、安定した水供給と污水处理を行います。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0821	まつやまマイロードサポーター登録団体数 (団体)	68 [R5年度]	71
0822	上水道の基幹管路の耐震適合率(%)	41.7 [R5年度]	48.0
0823	下水道の ^{かんきょ} 管渠改善率(%)	0.10 [R5年度]	0.20